

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第534号（平成26年6月25日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

★次回汚染土壌事業化PT開催日程について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 環境省、「巨大災害発生時における廃棄物対策行動計画」の策定作業に
2. エコマックス、焼却残灰等移送に内航船を活用し成果
3. 「交通政策基本計画（2015～2021）」の中間とりまとめ素案を検討

=====

《事務局からのお知らせ》

★次回汚染土壌事業化PTは7/17（木）15：30～17：30開催予定です。

（詳細については後日連絡します）

【事務局】

-
1. 環境省、「巨大災害発生時における廃棄物対策行動計画」の策定作業に

環境省廃棄物・リサイクル対策部は今年3月に中間的にとりまとめた「巨大災害発生における災害廃棄物対策のグランドデザイン」を踏まえ、年度内を目途に「災害廃棄物対策行動指針」を策定する。そして同指針をベースに、全国を8ブロックに分けてそれぞれ「巨大災害廃棄物対策チーム」を設置し、地域の事情や懸念される災害時の廃棄物の発生量等の推計を基に『巨大災害発生時における災害廃棄物対策行動計画』を策定する。

巨大災害で発生する廃棄物を計画的に搬入～処理するためには、東日本大震災の教訓から、廃棄物の集積、分別～再利用で必要となる臨海部の広い用地が必要になると共に、海上ルートからの受入が可能となる廃棄物海面処分場の確保などが重要になると見ている。

行動計画の基本的方向としては、膨大な災害廃棄物の円滑処理の検討、東日本大震災を教訓を踏まえた発災前の事前準備と発災後の迅速な対応、強靱な廃棄物処理システムの確保と資源循環への貢献、また同処理を行うため臨海部のまとまった用地確保や廃棄物等の輸送手段などが検討対象になる見込み。

【港湾空港タイムス】

-
2. エコマックス、焼却残灰等移送に内航船を活用し成果

産業廃棄物の中間処理や蛍光灯ランプリサイクルなどを行っているエコマックス(株)（本社・神奈川県寒川町、大槻利幸代表）は、中間処理した焼却残灰等の最終処分場への移送に内航船 を活用する

ことで成果を上げている。かつては最終処分場のある仙台市内まで陸送していたが、2011年よりその一部を海上輸送に転換した。今では年間に処分する約1万5000tのうち約3000tを海上輸送している。エコマックスでは海上輸送へのモーダルシフトにより、CO2排出削減や経済効果なども期待できるとしており、今後は国土交通省の助成措置なども念頭に、海上輸送の割合を高めていきたい考え。

エコマックスはアサヒホールディングス(株)グループ会社として、産業廃棄物の収集運搬並びに産業廃棄物処分業務、ランプリサイクルなどに取組んでいる。

このうち産廃の海上輸送は、内航海運の井本商運、仙台市に本社のある産業廃棄物最終処分業者の仙台環境開発(株)と連携。中間処理済みの焼却残灰等を横浜港まで陸送し、横浜港からコンテナに入れて仙台塩釜港まで海上輸送、そこから内陸の処分場に陸送して埋立処分している。

陸送に比べ環境への負荷が少なく低廉に輸送できるメリットがある。エコマックスと仙台環境開発は平成26年度から、リサイクルポート推進協議会に新規加入しており、国の静脈物流政策の情報も取り入れながら、モーダルシフト政策に協力していく方針。

【港湾空港タイムス】

3. 「交通政策基本計画（2015～2021）」の中間とりまとめ素案を検討

国土交通省は6月18日、「交通政策基本計画小委員会（委員長・浅野誠一郎国立情報学研究所名誉教授）」の第3回会合を開き、「交通政策基本計画（2015～2021）」の中間とりまとめ素案を検討した。国際コンテナ戦略港湾政策の深化、クルーズ振興を通じた地域の活性化に向けた取組み等を今後更に推進すべき施策として位置付けている。同計画は年内に閣議決定する予定。

同政策案のうち「国際交通ネットワークの競争力強化」では、

- ▽集貨、創貨、競争力強化に資する国際コンテナ戦略港湾政策の深化を図るとともに、三大都市圏環状道路や港湾へのアクセス道路の重点的整備、
- ▽大型ばら積み貨物船に対応した港湾機能の拠点確保や企業連携促進による安定的・効率的な海上輸送網の形成、▽各地域経済を支える産業物流の効率化、
- ▽企業活動の活性化を促進する港湾を積極的に活用、等を挙げている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 部会長：徳田 英司 | 新日鐵住金（株） |
| 部会員：細貝 隆司 | 五洋建設（株） |
| 堀江 良彰 | 東京都 |
| 加賀谷 聡一 | (株)酒田港リサイクル産業センター |
| 紫牟田 和隆 | 光和精鉱(株) |
| 新谷 聡 | りんかい日産建設（株） |

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、大矢、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####